

三原にまつわる 雑学の決定版！



私たちのまち三原の歴史、自然、文化、観光、グルメなどさまざまな面からもう一度三原を見つめ直し、三原を好きになってもらうキッカケになる本として編集しました。

A5版の272ページ。1冊1,500円(税込み)で、今月下旬から市内の書店で販売を開始し、来年2月には、この本を公式ガイドブックとした「三原やっさ検定」を行います。

▲竜王山から瀬戸内海を望む

1章 見たい



3章 歩きたい

歩きたい



2章 知りたい

知りたい



活躍しています！ ふるさと大使

(漫画家)
川原正敏さん
Masatoshi Kawahara



川原さんは、三原市出身の50歳。代表作に「修羅の門」、「修羅の刻」などがあり、主に月刊少年マガジン(講談社)にて執筆をしています。とりわけ「修羅の門」は、1987年から96年までの9年間連載を続け、全31巻の単行本の発行部数は、累計で1,500万部を超えています。

同月刊誌の11月号から「修羅の門 第貳門」として連載を再開するとともに、12月号からは隔月で、地元三原を舞台としたサッカー漫画「修羅の門異伝 ふでかげ」も連載し、この原作を描いています。

川原さんは三原で過ごした思い出を「夏は海、他の季節は野山を駆け回って少年時代を過ごしました。筆影山、竜王山、佐木島、小佐木島…。本当になつかしい風景です」と語り、今回の連載について「ふるさと大使に任命されたこともあり、作品の舞台を三原市に設定しました。サッカー漫画であり地域PR漫画という訳ではありませんが、自分としては作品に『根』ができたように思います。皆様にもより身近に感じてもらえれば幸いです」とコメントしています。



特集

これであなとも
ものしりキング

今月下旬
発売開始

みはら 雑学王

三原市ふるさと情報発信事業推進協議会

6章
伝えたい



5章
楽しみたい



4章
食べたいたい



ふるさと情報発信事業推進協議会について 商工振興課 (☎0848⑥6072)
問い合わせ先 みはら雑学王の出版について 観光文化課 (☎0848⑥6074)
三原やっさ検定の実施について 商工会議所 (☎0848⑥6155)